

ボランティアをしたい人と
してもらいたい人をつなぐ

みんなのボランティア情報誌

月刊

ボランティア

2010年

5 No.141
月号

無料 自由に
お持ち帰りください



OB・OG
コラム

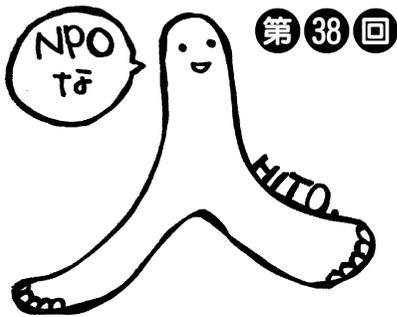
NPO
な人

札幌遠友塾自主夜間中学代表 工藤慶一さん
泣いた！ 笑った！ トングの人々と…

今月の表紙イラスト

札幌在住の久木あゆみさんにご提供いただきました。
<http://nacart.main.jp>
表紙のイラスト
募集中

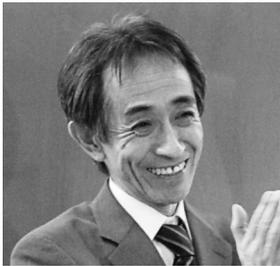
北海道のNPO 法人認証数
1,594 法人
(2010年2月末現在)



.....

NPO 活動をしている人をどのくらいご存じですか？
どんな人が、どのような経緯で始めたり、関わるようになったのでしょうか。
北海道の多くの市民活動家の中から、まさに「NPO な人」として紹介したい方に、これまでのエピソードを教えてくださいました。

.....



著 者 札幌遠友塾自主夜間中学代表
工藤 慶一（くどう けいいち）

1948 年旭川生まれ。石油販売会社の総務部に所属し、資金繰りや決算などを担当。「北海道に夜間中学をつくる会」共同代表。顔写真は写真家の大坂忠氏撮影。

探し求めていた活動

私が生まれ育った旭川市の春光町（しゅんこうちょう）や花咲町（はなさきちょう）は、旧日本軍の兵舎などが多く残り、そこには樺太から引き揚げてきた人たちがたくさん住んでいました。とても貧しくて、小学校の同級生の中には、修学旅行に持っていくお米がない人もいました。中学 3 年の卒業間近の時、あだ名が「アン助」というクラスメートが、彼の亡くなったお兄さんが使っていた高校の数学の参考書を私に手渡ししてこう言いました。「ヤカン（私のあだ名）、これを使って世の中を良くしてくれ」と。その時彼は、すでに両親も亡くしており、親戚の家から中学校に通っていたのです。彼自身は上の学校に行くこともかなわず、私に何かを託したのです。それは、とてつもない人生の宿題でした。

このため、大学を出て普通に就職する気もおこらず、大学理学部を 3 年で中退し、印刷工場で何年かアルバイトをした後、石油販売会社に就職しました。学びたくても学べないことがあり、だからこそ本当に学びたいという人の願いに応え、共に歩むことのできる道とは何かを、この間、私はずっと考えてきたように思います。

自分の考えていたことが具体的に動き出したのは、38 歳の時、1987 年の北海道新聞に掲載された「遠友塾読書会」の記事を目にしてからでした。牧野金太郎先生（故人）が主催し、札幌で自主夜間中学の設立を目指していました。北海道で 10 万人を超える実質的に義務教育を終えていない人たちが切実に学びの場を求めており、憲法第 26 条にある教育を受ける権利を具体化したいという願いから始まった活動で、会の名は、1944 年まで 50 年間続けられた「遠友夜学校」からつけられていました。この動きは、私の探し求めてきた道だと直感しました。すぐに参加し、2 年後には札幌遠友塾準備会を開いてスタッフを集め、賛助会員を募集し、3 月に北海道新聞に記事を載せていただいて受講生を募りました。入学希望の電話が鳴り止まず、学びを求めている人たちがたくさんいることが分かりました。とうとう 100 人を越えたところで募集は打ち切らざるを得ず、残りの人には翌年まで待っていただくほどでした。



授業の様子

自主夜間中学の活動と広がり

1990年に始まった授業は、20年間で約300人の卒業生を送り出してきました。受講生の年代は10～80代と幅広く、現在も85人が学んでいます。

遠く旭川・風連・釧路・函館から3年間通った卒業生たちもいました。小さい時に子守りに出され学べなかったある女性は、結婚するため彼の実家に行ったところ、彼の母親から「教育のない母親に子どもを育てることはできませんよ」と言われ、結婚の話がなくなったこと、そのときの言葉があまりにショックで二度と結婚しようと思わなくなったこと、ビルの名前が読めないために友達と待ち合わせることもできなかったことなどを教えてくれました。彼女はようやく遠友塾にたどりつき、今では手紙も出せるし、立派な作文を書けるまでになっています。また、戦争で学校に行けなかった人や中国残留孤児とその家族、就学免除で学校に行ったことがなかった車イスの人、不登校を経験し家に引きこもりになった人たちなど、たくさんの人々が遠友塾の門をたたきます。学ぶ喜びで笑顔一杯になる受講生と共に歩めることが、私たちボランティアスタッフ80人の誇りでもあり、幸せです。

しかし、こうした学びの場を維持していくためには様々な困難が伴います。何といたっても、以前教室として使用していた札幌市民会館がなくなる事態に直面した時のように、教室の確保には本当に長い間苦しみました。あらゆる努力を傾け、札幌市長や市教育長はじめとする行政の方々や札幌市立向陵中学の教職員・生徒・PTA・町内会の皆様のご理解をいただき、また実に多くの方々が支えてくれたおかげで、昨年春から向陵中学校で継続的な「夢」の授業が実現しました。待ちに待った「本物」の学校での授業です。

自主夜間中学で学ぶ人の輪は、全道に広がっています。一昨年の旭川遠友塾に続き、昨年春には函館遠友塾と釧路「くるかい」が開設されました。今後もたくさんの自主夜間中学が道内にでき、さらに公立夜間中学(*)の設置も求めていくことで、学びたいと願う人々の灯台になればと思います。また向陵中学の生徒さんとの交流を通じ、若い人たちに学ぶことの意味を発信していきたいと考えています。

昨年9月、「遠友塾20年のつどい」が170人の参加で開かれ、受講生・卒業生・スタッフが思いのこもった生活体験発表を行いました。笑顔で学ぶ受講生の人間としての素晴らしさに感動し、支えてくださる方々の温かさを再認識しました。これからも私たちスタッフと受講生は「心友」であり続けることでしょう。

私は、クラスメートだったデン助に、今も心の中で「これでいいのか？」とつぶやくことがあります。これからも、「学ぶことが生きることの証と喜びになる」というスローガンをかけ、不思議な力をもつ夜間中学の素晴らしさを多くの人たちに知っていただきたいと思っています。

*公立夜間中学は、東京・大阪を中心に全国に35校ある。

受講者・スタッフ・支援者募集

遠友塾の授業は毎週水曜日18:15～、1日2教科50分ずつ、国語、数学、英語と月1回の社会を学びます。受講料1,000円/月。

ボランティアスタッフは、各クラスの受付・会計・教材プリントの整理保管・日誌の記録・授業補助などを行います。

また、賛助会員には、私たちの新聞「遠友だより」を定期的にお送りします。年会費ひとく2,000円(何口でも結構です)。振込先/郵便振替 口座番号:02730-3-44636 加入者名:札幌遠友塾自主夜間中学

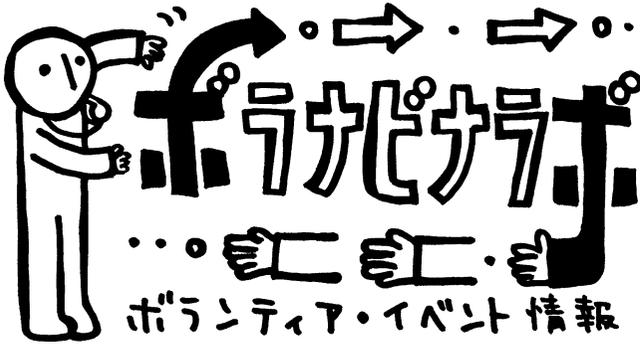
札幌遠友塾自主夜間中学

Eメール kudukei@jcom.home.ne.jp

TEL・FAX:011-571-2119(守田)、011-897-1426(泉)、011-632-9777(井上)

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条13丁目7-5 工藤宅

ホームページ <http://enyujuku.com/index.shtml>



情報をお待ちしています

ホームページの入稿フォームをご利用ください。

- ボラナビ <http://www.npohokkaido.jp/volunavi/>
- ※インターネット環境が無い方は、FAXや郵便でお送りください。

締切は毎月25日。次回は5月25日締切で7月号掲載です。

掲載情報のご利用にあたり

- 情報の詳細は各団体にお問い合わせください。
- 活動で生じた問題につきましては、当事者間で解決を図られるようお願いいたします。また、万が一の事故やケガにそなえてボランティア保険への加入を推奨します。
- 思いやりをもって活動しましょう。

随時

福祉調理活動のボランティア募集

私たちR☆Sジンジャーは、主に料理を通じた福祉活動を行うことで、北海道を盛り上げていこうとしている団体です。「発達支援児童と親のための料理教室」(札幌市中央区エルプラザにて)で講師を務めたり、聴覚障がいのある方が働くカフェ(札幌市豊平区)で料理教室を開催したりしています。その他にも様々な活動を手がけており、今後も広げていく予定です。代表の高柳は調理師免許の他、ホームヘルパー、フードコーディネーター、ハーブコーディネーター、北海道フードマイスター、薬膳アドバイザー、食育指導士などの資格を有しており、「体に優しい料理」の習得を目指して老人介護施設の厨房で働く20代です。一緒に活動しませんか。料理ができなくても、子どもが好きだったり、障がいのある方を支援したいという方なら大歓迎です。



- 日時／不定期。お問い合わせください。 ● 場所／札幌市内公共施設など。
- その他／イベント実施の際にボランティアして下さる方には、実費交通費500円まで支給します。
- お問い合わせ／R☆Sジンジャー〈担当：高柳〉 Eメール r-takareo@softbank.ne.jp FAX：011-832-0430

5/13 他

小学生の一泊旅行サポートボランティア説明会

黒松内の児童養護施設「黒松内つくし園」で過ごす小学生を7月10日(土)～11日(日)に小樽に招くため、この旅行をサポートしてくれるボランティアを募集します。子どもたちと楽しく触れ合う中で、自分自身の中にも大切なものを見つけられる2日間です。下記の日程で説明会をおこないます。お問い合わせをお待ちしています。

- 説明会日時／1回目5月13日(木)、2回目5月22日(土)、3回目5月27日(木)、4回目6月5日(土)
※いずれも19:00より1時間程度。
- 場所／小樽市勤労青少年ホーム(小樽市緑1-9-4)
- 交通機関／中央バス「山手線・天狗山ロープウェイ線」で「市民会館通り」バス停下車徒歩1分
- お問い合わせ／小樽BBS会〈担当：齋藤〉 Eメール otaru_bbs@hotmail.com TEL：070-5602-7249

随時

一人暮らしの女性の介助者を募集

30年間施設や病院を転々とした後に一人暮らしを始めた50代の女性が、ヘルパーの時間数が足りず困っています。学生さんにボランティアをお願いして何とか地域での生活を送ることができていますが、安定した介助を受ける体制にはなっていません。お時間のある方がいらっしゃったら、サポートしていただけますか？ 資格・経験は問いません。みなさんのちょっとしたお手伝いがあれば、安心した生活を送れます。あなたの心と手をお待ちしております。興味のある方はぜひぜひ一度ご連絡ください!!

- 日時／曜日を問わず18:00～翌朝9:00(内休憩時間あり)。
- 場所／札幌市西区 ● 交通機関／地下鉄東西線「琴似駅」徒歩5分
- その他／謝礼として、1回(1泊)2,500円+交通費全額支給。
- お問い合わせ／札幌いちご会〈担当：金田〉 Eメール ichigo@d1.dion.ne.jp
TEL：011-676-0733 FAX：011-676-0734 ホームページ <http://www.d1.dion.ne.jp/~ichigo>

5/6
締

知的障がい児の種まきのお手伝い募集

私たち石狩子ども農園は、知的障がい者の支援にとりくんでいます。農園で、子どもたちと一緒にジャガイモとトウキビの種まきを手伝ってくれるボランティアを募集しています。体を動かした後は、みんなで流しそうめんやジンギスカンを食べます。ご参加お待ちしております。

- 日時/5月9日(日) 9:40 集合。
- 場所/日下部農園(石狩市生振252-3)。駐車場あり。こいのぼりを目印にいらしてください。
- 参加費/入園料として1家族500円、食事代お一人1,000円
- その他/5月6日(木)までにお申し込みください。当日は、汚れてもいい服、帽子、タオル、軍手、長靴、雨具(念のため)、虫除けスプレー、その他各自必要と思うものをお持ちください。
- お問合せ/障がい児家族を応援するボランティア石狩子ども農園<担当:川原>
TEL・FAX:0133-72-0341 携帯:090-1642-0906 ホームページ <http://kids.ap.teacup.com/isikari/>

随時

不登校の子どもたちのサポート

こども教育支援財団が運営する「元気の泉」札幌分室では、不登校の小・中学生のお兄さん、お姉さんとなって学習サポートをしたり、お話し相手になってくれる大学生・大学院生を募集しています。不登校の子どもたちが1人でも多く笑顔になり、外との接点を持ち、学校や社会へ復帰する過程をぜひスタッフと共に支援してください。事前に一度足を運んでいただき、不登校の子どもたちと関わることができるかどうか面接させていただきます。

- 日時/月～金曜日 9:00～17:00の中で、ご都合のいい曜日・時間。
- 場所/「元気の泉」札幌分室(札幌市白石区本通3丁目北7-17)
- 交通機関/JR「白石駅」より徒歩10分。または、バスで「本通5丁目停留所」もしくは「本通2丁目停留所」下車、徒歩5分。「本通北3丁目停留所」下車、徒歩1分。
- お問合せ/財団法人こども教育支援財団<担当:山田> Eメール m.yamada@kodomo-zaidan.net
TEL:011-867-6218 FAX:011-867-6217 ホームページ <http://www.kodomo-zaidan.net/>

随時

シルクスクリーンの経験者ボランティア募集

就労を目的に訓練を続ける障がい者に、印刷技術の一つであるシルクスクリーンを指導するお手伝いをしていただけではないでしょうか。シルクスクリーン印刷の経験がある方をお願いします。

- 日時/月～金曜日 活動時間は9:30～16:00頃までです。ボランティアの時間帯は話し合いで決めます。
- 場所/共働友楽舎(札幌市北区北34条西9丁目4-17)
- 交通機関/地下鉄南北線「麻生駅」、「北34条駅」より徒歩10分。または、JR学園都市線「新琴似駅」より徒歩15分。
- 謝礼/昼食、交通費、若干のボランティア手当をお支払いいたします。
- お問合せ/共働友楽舎ありすくらぶ<担当:角谷(スミタニ)>
TEL:011-747-2622 FAX:011-807-5412 Eメール alice_f207@yahoo.co.jp

北海道いのちの電話第33期相談員養成講座 **受 講 生 募 集**

自殺予防を目的として、電話相談を行っている社会福祉法人いのちの電話では、2010年度相談員養成講座の受講生を募集しています。

受講資格	年齢20歳以上 相談員として深夜帯も担当可能な方	研修期間	2010年10月～2011年5月 毎週火曜日18:45～21:00 講義、体験学習など 2011年6月～2012年3月 実習
定員	40名程度	研修費用	30,000円と宿泊研修実費約6,000円
応募書類	申込書(所定のもの・写真添付)「応募する理由(800字程度)」「私の生い立ち(1,600字程度)」	お問合せ・応募要項請求は、	事務局 TEL:011-251-6464 FAX:011-221-9095 〒060-8693 札幌市中央郵便局私書箱107号 社会福祉法人 北海道いのちの電話 事務局まで
申込手数料	1,000円(定額小為替または切手80円10枚と50円4枚代用可)	または、北海道いのちの電話ホームページからダウンロード	
申込期間	5月1日～7月31日(当日消印有効)		

1回 アニメーションの指導ボランティア募集

私たちは、障がい者（精神・知的）の自立支援をしています。地域の人たちと交流したり、協力を得ることで、長年施設や病院で過ごして来た障がい者が一人で日常生活を営める能力を身につけて地域で生活できるようにしたり、精神保健福祉に関する知識の普及啓発と情報提供を行うことで、ノーマライゼーションの実現を目指したりしています。利用者の中に、漫画家として、またはその業界で働くことを希望している人がおり、独学でイラストを手描きしています。職員には専門知識が無いので適切な助言をすることができません。ボランティアで指導していただける方を募集します。



- 日時／毎月1回程度。10：00～12：00。
- 場所／福祉サービス事業所石山もしる（札幌市南区石山東7丁目7番8号）
- 交通機関／地下鉄南北線「真駒内駅」から中央バス〈101・102〉芸術の森行きに乗り、「石山東7丁目」停留所下車徒歩2分
- その他／交通費支給、上限1,000円。昼食を提供しますので、利用者と一緒に食べてください。
- お問合せ／NPO法人共生の森〈担当：斉藤〉 Eメール naritays@live.asahikawa-u.ac.jp
TEL・FAX：011-593-7531 携帯：090-8278-2148 ホームページ <http://blog.canpan.info/kyouseinomori/>

月 日本語教師ボランティア募集!!

札幌に住む外国人の方に、毎日楽しく生活していただくため日本語を教えています。日本語を教えたいけれど場がないという方は、私たちと一緒に活動してみませんか。日本語教師養成講座修了又は修了予定、あるいは大学にて日本語教育を履修され、長期活動できる方を希望します。興味のある方は一度メールにて連絡の上、見学にお越しください。お待ちしております。

- 日時／毎週月曜日 18：30～20：00。
- 場所／札幌市社会福祉総合センター（札幌市中央区大通西19丁目1-1）
- 活動費／月500円
- お問合せ／日本語サークル Step J!
Eメール sapporostepj@hotmail.com
ホームページ <http://stepj.web.fc2.com/>



ハンド・フットケア教室

癒しとぬくもりのケア

オイルを使って、温めた手で利用者の手足をさすり、なでてあげる優しい手技です。肌と肌が触れ合うことで心にも触れ、コミュニケーションを取りやすくなります。

※社会福祉施設に勤務する看護師を対象に講義経験有。
(平成21年度北海道社会福祉協議会主催)

日時／毎月第2・第4土曜日 13:00～15:00 (2時間/回 5回)
会場／札幌市中央区南2条西6丁目 狸小路プラザハウス2階
受講料／35,000円 (教材・修了証書代含む)

NPO法人 日本ヒーリングケア協会・ヒーリングケアスクール札幌 代表：男沢(おさむ)千恵子
TEL：011-824-3848 FAX：011-824-3844
ホームページ <http://www.healing-care.jp>



「元気の芽」応援します。

詳しくは  または

北海道新聞社

随時

製品づくりのお手伝い

地域活動支援センター作業所創には、地域で暮らす身体・知的・精神に障がいのある方が通所し、縫製品・籐工芸品・手工芸品などを製作する作業を行っています。現在、製品づくりのお手伝いをしてくださるボランティアさんを募集しています。ものづくりが大好き、手工芸が得意、籐編みができる方、作業所に通う障がいある方を手助けして、製品作りをしてみたいと思う方の応募をお待ちしています。



- 日時／月～金曜日 10：00～15：30。
- 場所／札幌市厚別区厚別南1丁目9-1-306
- 交通機関／地下鉄東西線「ひばりが丘駅」より徒歩1分
- お問合せ／NPO 法人作業所創〈担当：小川〉 Eメール sou_ogawa@hotmail.com
TEL・FAX：011-891-3039 ホームページ <http://www.k3.dion.ne.jp/~sagyosou>

5月
末日締

ホームページやデータベースを作成します

自身の勉強のために、市民団体や個人の方のホームページ制作やデータベース構築のお手伝いをいたします。当方の環境は、HP制作ソフトはDreamWeaverCS4、IllustratorCS4、PhotoshopCS4、FireworksCS4。動画制作ソフトはFlash CS4、Microsoft Expression Blend3。データベース制作ソフトはFile Maker 10 Advancedです。なかなか出張はできませんが、綿密なお電話・メールでの連絡を心がけます。納品は、ご依頼者様のサーバーへのアップロードか、CDやDVDでのデータ送付などで対応いたします。あまり難しいことはできませんし、どのくらいご応募いただけるか分かりませんが、なるべく勉強してご期待に添えるものを作りたいと思います。申し込み者数やページ数などによってはお引き受けできかねる場合もありますので、ご了承ください。それではお気軽にご一報ください。

当方が手がけたホームページ⇒<http://hokkaido-adventures.com> と <http://hat-dogsled.info>

- その他／2010年5月末日までにご応募ください。制作させていただけることが勉強になりますので、謝礼は必要ありません。ただ、納品がCDやDVDの場合は送料を、出張が生じた場合はその交通費を支給していただけると非常にありがたいです。南富良野町在住のため、JR「落合駅」までお越しいただける場合は、直接打ち合わせさせていただきます。
- お問合せ／寺田 Eメール waffooo-velcol@dreamheal-craft.asia TEL：0167-52-2808 携帯：090-3774-5030 FAX：0167-39-7812 〒079-2552 空知郡南富良野町北落合308-6

ベトナムボランティアワークの旅 参加者募集

全ての子どもたちが、教育を受けられる事を願ってメコンデルタ地域の農村に幼稚園を建設します。あなたもこの活動に参加しませんか。

日程：8月4日(水)～16日(月)
参加費：253,000円(新千歳空港発着)
対象：高校生以上

<参加者募集説明会>

会場：北海道YMCA
中央区南11条西11丁目
5月22日 土 14:00
6月11日 金 18:30
6月19日 土 14:00



* 詳しくはHPで、<http://www.hokkaido-ymca.or.jp>

問い合わせ先：北海道YMCA 電話011-561-5642 メール：m-satou@hokkaido-ymca.or.jp

随時

車いすラグビーのボランティアと選手募集

ウィルチェアー（車いす）ラグビーチーム「北海道ビッグディッパーズ」の練習をサポートしてくれるボランティアを募集しています。具体的には、競技用車いすの搬入出、車いす乗り換えの介助、練習終了後の体育室の清掃、また練習そのものにも参加していただければと思っています。力仕事にみえるかもしれませんが、女性でも問題なくできますので、気軽に応募してください。ウィルチェアーラグビーは、四肢麻痺者などがチーム・スポーツをする機会を得るために、1977年にカナダで考案されました。競技は、ラグビー、バスケットボール、バレーボール、アイスホッケーなどの要素が組み合わされており、バスケットボール用のコートで行います。お手伝いいただける場合は、あらかじめご連絡ください。選手として興味を持たれた方の参加も歓迎します。手に障がいがあってもプレーができるルールになっているのでお気軽にお問い合わせください。

- 日時／5月は11日(火) 14:00~17:00。毎月1、2日程度、火曜日午後か夜を中心に練習しています。
- 場所／リフレ札幌国際交流館2階体育室（札幌市白石区本通16丁目南4-26）
- 交通機関／地下鉄東西線「南郷18丁目駅」より徒歩5分
- その他／体育館で使用する上靴を用意してください。
- お問合せ／北海道ビッグディッパーズ〈担当：山田〉 Eメール takahiro_yamada@hi-ho.ne.jp
FAX：011-853-8255 携帯：090-8705-6154 ホームページ http://www.geocities.jp/hokkaido_big_dippers/

火・水・金

高齢者施設でボランティアをしてみませんか？

アビターレデイサービスは、一日平均150人程度の高齢者の皆様がお来所されて、お風呂に入ったり、リハビリに励んだり、趣味活動を楽しんでいる施設です。この度、手芸・陶芸の作品づくりのお手伝いや、ビリヤードのお相手などをしてくださるボランティアを募集します。高齢者の皆様と楽しい時間を過ごしましょう！ご連絡をお待ちしております。



- 日時／火・水・金曜日 10:00~17:00。
- 交通機関／地下鉄南北線「平岸駅」より徒歩10分、または地下鉄東豊線「学園前駅」より徒歩10分
- お問合せ／社会福祉法人愛全会高齢者総合福祉施設アビターレ〈担当：佐藤〉 Eメール abitare@aizenkai.or.jp
TEL：011-821-7000 携帯：090-9431-7931 FAX：011-821-7023
札幌市豊平区平岸2条2丁目1-1 ホームページ <http://www.aizenkai.or.jp>



～NPOのちよつとした疑問にお答えします。～

Q インターネットを使って、会社や職場の上司・同僚の悪口を流している社員がいる場合、会社は法的にどのように対処すべきでしょうか。

- **A** まず、インターネット上に広く会社・個人の悪口を掲載すれば、刑法上、名誉毀損罪（刑230条）または侮辱罪（刑231条）が成立する可能性があります。次に、民事上、被害者である会社または個人は、不法行為に基づく損害賠償請求が可能であり（民709条）、名誉を回復する措置を求めることもできます（民723条）。そして、当該悪口が会社の業務に関連する悪口であった場合や、会社のホームページ及び会社の関連先への記載であった場合には、就業規則上の服務規律違反または労働契約上の忠実義務違反として、その社員に対し懲戒処分を課することも可能となります。
- 下矢洋貴 弁護士（佐々木総合法律事務所 TEL：011-261-8455）

随時 安心・安全交通ボランティア募集

野幌商店街振興組合では、子どもたちの安心・安全や、地域の安全を守るために、江別市野幌地区に在勤・在住の方を対象に、「安心・安全交通ボランティア」を募集しています。地域の子どもの健全育成に、ぜひ皆様方のお力をお貸しください。

- 日時／月～金曜日 7:30～10:00、14:00～16:00。※いずれかご都合の良い日時でご参加ください。
- 場所／野幌地区内小・中学校周辺、および野幌商店街近隣。休憩所は、ほっとワールドのっぼ（江別市野幌町55-5）。
- 交通機関／JR 函館線「野幌駅」より徒歩5分
- お問合せ／野幌商店街振興組合〈担当：梶野〉 Eメール notsupoo@yahoo.co.jp TEL・FAX：011-383-9616

随時 障がい者の作業サポートボランティア

地域活動支援センターポプラは、通所している身体や知的、精神障がい者の利用者さんが作業をしたり、お互いを尊重しながら、楽しく生活できる場として誕生しました。フクロウストラップなどの木工芸品や、ポーチなどの手芸品を作製しています。障がいのある利用者さんと話し、一緒に作品を作るお手伝いをしていただけませんか。作業のほかにレクリエーションを行うこともあります。楽しい時間を過ごしましょう。

- 日時／月～金曜日 9:30～15:00 の中でご都合の良いときで構いません。
- 場所／札幌市白石区東札幌2条5丁目9-15 コーポラス丸亀104
- 交通機関／地下鉄東西線「白石駅」徒歩5分
- お問合せ／地域活動支援センターポプラ〈担当：石山〉
TEL・FAX：011-823-8239 ホームページ <http://www.geocities.jp/ckpopura/>

土・日 知的発達障がい児（者）のスポーツトレーニング

知的発達障がいのある人たち（アスリート）と一緒にスポーツを楽しみながら、サポートをしてくれる方を募集しています。陸上・水泳・テニスのプログラムがあります。サポートする内容は、アスリート個々の競技レベルに応じた指導はもとより、着替えの手伝いや話し相手などさまざまです。障がいについての知識やスポーツの経験・資格は問いません。アスリートの人たちとスポーツを楽しみたいと思う気持ちがあれば充分です。あなたの「できること、できる時」でぜひご参加ください。

- 日時・場所・交通機関／毎週の活動ではありません。詳しくはお問い合わせください。
 - ・陸上 7月25日までの土日午前。豊平川河川敷にて（地下鉄南北線「幌平橋駅」徒歩3分）
 - ・水泳 8月1日までの土日午前・午後。豊平公園温水プールにて（地下鉄東豊線「豊平公園駅」徒歩5分）。土曜日は西区温水プールでもしています（地下鉄東西線「宮の沢駅」徒歩10分）。
 - ・テニス 7月まで土日午後。体育館数ヶ所にて。
- 参加費／ボランティア保険代として年間500円
- お問合せ／スペシャルオリンピックス日本・北海道札幌地区会〈担当：渡部〉
Eメール miki316072@nifty.com TEL：011-753-2910 FAX：011-752-1230 携帯：090-3890-7417

登録ヘルパー募集中

興味のある方 急募
ぜひお気軽にご応募ください♪

- 資格／ホームヘルパー2級以上、未経験者大歓迎 35歳以上
夜間は年齢不問
運転免許必須 南区在住の方（周辺の方も応相談）
- 勤務時間／応相談 昼間、深夜相談可
- 給与／時給930円（交通費400円。深夜手当などの諸手当有り）
- 勤務場所／南区とその周辺
- 応募方法／履歴書を当事業所まで郵送するか、下記までご連絡下さい。

NPO法人せせらぎ ヘルパーステーションせせらぎ
〒005-0804 札幌市南区川沿4条3丁目4-9 フラワーハイム102号
TEL：(011)572-7810 FAX：(011)572-7840

登録無料 欲しい情報がお手元に

ボラナビ・アラート

活動したい地域・分野・時間帯で
選んで登録。ご希望にあった最新の
ボランティア・イベント情報をお届け！
携帯からも簡単登録→



<http://npohokkaido.jp/volunavi/modules/vsearch/index.php?controller=user>

パンダ募金のボランティア

私たちの会は、WWFJ（世界自然保護基金日本委員会）の道内の会員が自らも自然保護活動をする目的で、1981年に結成されました。年2回の募金活動と月1回の自然観察会を行っています。このたびボランティアをお願いしたいパンダ募金も毎年恒例で、集めたお金はWWFJに送金します。動物園の入場者や通行人に募金協力を呼びかける活動をお手伝いしてくれませんか。可能な方には、パンダの着ぐるみを着ていただきたいと思います。参加希望者は電話かメールでご連絡ください。また、会員となつてくださる方も募集しています。年会費は2,500円で、会員には隔月発行の会報誌をお送りします。

- 日時／5月5日（水・祝） 10：00～15：00。
- 場所／札幌市円山動物園正門前（札幌市中央区宮ヶ丘3番地1）集合
- 交通機関／地下鉄東西線「円山公園駅」の〈3番出口〉徒歩15分
- その他／昼食・交通費・日当などの支給はできませんので、ご了承ください。参加希望者は、5月2日（日）23：00までにご連絡ください。小雨決行で順延はありません。昼食と雨具を持参してください。
- お問合せ／パンダクラブ北海道〈担当：長屋〉 TEL・FAX：011-384-0801 Eメール fc7te5@bma.biglobe.ne.jp

自然の中で子どもと過ごすボランティア募集

NPO法人ねおすは、子どものための自然学校「イエティくらぶ」をサポートして下さるボランティアスタッフを募集しています。イエティくらぶは子どもたちが自然の中でたくさんの人と共に活動することで成長していく場です。ボランティアスタッフの方には、子どもたちに寄り添い、共に感動し、一緒に遊んだり学んだりしていただきたいと思います。また、地元の方との交流や、動物と過ごす活動などもあります。18歳以上で活動に興味がある方なら初心者でもOK。継続参加できる方を歓迎します。

- 日時／週末や長期休暇中。日帰りのほか、宿泊をとまなうキャンプなどもあり。
- 場所／札幌市内・近郊、登別市、苫小牧市、黒松内町、東川町、七飯町、大樹町ほか道内各地。
- その他／保険に加入していただく費用がかかります（年額1,100円）。宿泊費や遠征費は会が負担します。
- お問合せ／NPO法人ねおす〈担当：木村〉 Eメール yeti-club@neos.gr.jp TEL：011-615-3923
FAX：011-615-3914 札幌市中央区宮の森2条14丁目1-14 ホームページ <http://www.neos.gr.jp/>



～NPOのちよつとした疑問にお答えします。～

Q 小規模なNPO法人ですが、今後従業員への退職金を積み立てて行きたいと考えています。退職金を積み立てる時の会計処理を教えてください。

- A** 退職金を内部で積み立てる場合、日常使っている銀行口座とは別に積立口座等を別に作った方がいいでしょう。仮に、退職金として1万円を積立るとした場合、
- 積立預金（資産） 1万円／現金又は普通預金 1万円
 - 退職積立金繰入額（費用） 1万円／
 - 退職預り金（負債） 1万円 と処理します。
- なお、(財)札幌市中小企業共済センターの「さぼーとさつぼろ」という福利・退職金共済制度もありますので、参考にしてみてください。
- 瀧谷和隆（瀧谷和隆税理士事務所 apitakiya@aol.com）

随時 ▶人権、平和、開発、環境、ジェンダー、多文化共生など各種講座
▶さっぽろ自由学校「遊」(札幌市中央区南1条西5丁目愛生館ビル207) など

さっぽろ自由学校「遊」は1990年から活動しており、私たち市民が未来に向けて取り組むべき課題について、共に語り合い、楽しみながら学び合っています。5月スタートの講座の一部をご紹介します。6月以降も新講座の開設や「韓国スタディーツアー」を計画しています。詳細はホームページをご覧ください。

- ・「北海道の未来構想プロジェクト」/5月12日より月1回水曜 18:30~20:30 全5回
- ・「生物多様性と私たちの社会~北海道から名古屋 COP10へ~」/5月6日より月1回木曜 18:30~20:30 全5回
- ・「聞き書きをしよう! 入門から実践へ~北海道の市民活動をたどる~」/5月7日より月1回金曜 18:30~20:30 全9回
- ・「帝国日本」とは? ~「韓国併合」100年を節目に考える~ /5月11日より月1回火曜 18:30~20:30 全5回
- ・「日米安保体制50年、いま改めて安保を問う」/5月18日より月1回火曜 18:30~20:30 全5回
- ・「市民の自治力~市民がまちを運営する~」/5月19日より月1回水曜 18:30~20:30 全5回
- ・「21世紀のセーフティネットを展望する」/5月29日(土)、第2回目以降、月1回水曜 18:30~20:30 全5回
- ・「生? 性? say!? “性”ってなんだ!」/5月25日より月1回火曜 19:00~21:00 全5回
- ・「コミュニティ・オーガナイザーって何だ?」/5月20日より月1回木曜 18:30~20:30 全5回
- ・「花さんの読書ゼミ 中国の古典「老子」を読む」/5月14日より月1回金曜 18:30~20:30 全5回
- ・「学習会 学校でちゃんと教わらなかった日本の近現代史」/5月28日より月1回金曜 18:30~20:30 全5回
- ・「ハイサイ! ぼん太」の沖縄三線教室/平日夜。レベル別。毎週
- ・「レッツ! 詩吟教室」/5月13日より木曜 18:30~20:00、月2回全10回
- ・「アイヌアートデザイン教室」/毎週水曜昼または夜。
- ・「英語でディスカッション~話す・出会う・英語~」/5月10日より毎週月曜 19:00~20:30
- ・「うれし、たのし、韓国語」/5月10日より毎週月曜夜。レベル別。
- ・「自主勉強会 英語通訳になろう」/5月26日月1回金曜 19:00~20:45
- ・「ぶきっちゃんでも大丈夫 あらすてき。きものリメイク教室」/5月13日より木曜 13:00~15:00 全5回
- ・「季節とともにアイヌ文化体験~春・夏・秋・冬~」/5月22日(土)10:00~15:00、その他。

☎ さっぽろ自由学校「遊」 Eメール syu@sapporoyu.org TEL: 011-252-6752 FAX: 011-252-6751

ホームページ <http://www.sapporoyu.org/>

5/9(日) ▶スキンカモフラージュサービス無料カウンセリング
▶13:00~15:00 札幌医科大学2階会議室(札幌市中央区南1条西17丁目)

※6月5日(土)13:00~15:00と10月2日(土)10:30~15:00には、社会福祉総合センター第3会議室(札幌市大通西19)にて開催。

顔や体の傷跡やアザ、しみ、タトゥ(入れ墨)などでお悩みの方に、特別な化粧クリームを使って目立たなくするカモフラージュ技術についてご説明し、体験していただけます。皮膚の色素が抜けた白斑や、治療のために肌にかぶせた人工物、エピテーゼを目立たなくすることも可能です。講師は、英国赤十字社スキンカモフラージュサービスの技術を特例で学び、日本国内での普及活動を期待されて帰国した、当会代表の白石典子とプラクティショナー(プロの施術者)が務めます。事前申し込みは不要です。当日、直接会場までお越しください。☎ スキンカモフラージュサービスネットワーク Eメール vamos@crocus.ocn.ne.jp 携帯: 090-9520-3674 (午後7時以降) FAX: 011-809-1523
ホームページ <http://www.scsn.info/>

5/9(日) ▶加藤周一ドキュメンタリー映画上映会
▶①10:30~(小森陽一氏解説12:15~13:00) ②13:30~(同氏解説15:15~16:00)
▶共済ホール(札幌市中央区北4西1)

「9条の会」呼びかけ人の一人で2008年12月にこの世を去った、戦後の日本を代表する知識人、加藤周一氏のドキュメンタリー映画を上映します。加藤氏は文学をはじめ芸術全般、社会、政治など幅広い分野で発言を続けました。若い世代への期待を語った講演と生前最後のインタビューも収録。前売1,000円(大人のみ)。当日は大人1,500円、高校生以下500円。☎ 岡村 Eメール soledakedewanai@gmail.com TEL: 011-252-3828 FAX: 011-262-3848

5/16(日) ▶国際ワークキャンプの説明&体験談発表会 14:00~ ▶エルプラザ2階環境研修室(札幌市北区北8西3)

国際ワークキャンプとは、世界の若者が2~3週間一緒に暮らし、環境・文化保護、福祉、農村開発などに住民たちと取り組む国際ボランティアプロジェクトです。活動は、森の手入れ、動植物の保護、有機農業の応援、子どもやお年より・障がい者・難民の手伝いなど、地域や時代の特色を生かしたユニークなものです。国内はもちろん、アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北米、南米…世界各地で開催されています。このたび、国際ワークキャンプの参加者による体験談発表と、参加方法などの紹介をします。アットホームな会ですので、気軽にご参加ください。当日飛び入り参加・途中退出入も大歓迎です。☎どさんこNICE<山田> Eメール rsc74239@nifty.com 日本国際ワークキャンプセンターNICE ホームページ <http://www.nice1.gr.jp/> どさんこNICE ホームページ <http://web.mac.com/toshimushi/dosanko-nice/Top.html>

5/27・28(木・金) ▶ヤンジンさんのコンサートと、チベットについてのお話会 ▶27日19:00~エルプラザホール(札幌市北8西3)、28日19:00~エルプラザ環境研修室

27日は、来日して15年のチベット族バイマーヤンジンが、豊かな日本への驚きや、日本でみつめなおしたチベットのことなどを軽妙な大阪弁で語り、歌います。28日は、斎藤秀樹氏(オフィスヤンジン代表)が、バイマーヤンジンのふるさとアバ(現四川省)のスライドを見ながら、チベットとの巡り合いや学校建設支援などをお話しします。参加費27日1,200円(託児あり)、28日600円。☎NPO法人ヒマラヤ圏サパナ<三浦> Eメール sapanas387@gmail.com

6/12(土) ▶「何故、今、再び巡礼なのか」と「気功教室」について ▶13:30~15:30 かでる2・7 1050会議室(札幌市中央区北2西7)

がん医療や緩和ケアについて総合的に学習する講座を開催しています。6月は、平和のメッセージを人々に伝えながら歩き続けたアメリカ人女性「平和の巡礼者」の後を継いで、欧米とアフリカで1年余り巡礼行進に参加した那須博文さん(友好鍼灸院院長)に、今度は日本の海岸線をぐるりと巡る旅にでる経緯や、ガンを患った方を対象に実施している「気功教室」についてお話ししていただきます。会員・学生500円、一般700円。☎NPO法人市民と共に創るホスピスケアの会事務局 Eメール shimin-hospice@nifty.com TEL・FAX:011-615-6060(月~金11:00~15:00)

第1日曜 ▶第3級アマチュア無線技士養成講習会 偶数月第1日曜日9:00~18:30 ▶NPO法人ラジオ少年(札幌市東区北17東17-3-12札幌ラジオ会館) 地下鉄東豊線「環状通駅」(2番出口) 徒歩5分

NPO法人ラジオ少年では、4級アマチュア無線技士の認定に続き、民間で全国初の第3級アマチュア無線技士養成課程講習会の認定を総務省から得ました。受講料は、19才未満が4,750円、19才以上が7,750円です。安価な受講料で、3級アマチュア無線技士の国家資格を得られます。申し込みは講習会前日の17時までをお願いします。第4級アマチュア無線技士講習会も、毎月の第2土・日に開催中。☎NPO法人ラジオ少年<原> Eメール info@radioboy.org TEL:011-827-2801 FAX:011-827-2848 携帯:090-6447-4255 ホームページ <http://www.radioboy.org>



ボラナビに情報を掲載した方からのご意見、ご感想を紹介するコーナーです。

▼ボラナビに載ると、**新しい風**を運んできてくれるボランティアに出会える。

▼厳しい時代だが、ボラナビは人々の**善意のネットワーク**形成に大きな役割を果たされていると感ずる。

▼「**昼食つきなら**ボランティア希望者はたくさんいる」と学生に教えてもらったが、なかなか難しい。

▼載せたがなかなか集まらない。**子ども同伴でもできる**活動と記載すればよかったかも。

OB・OG 青年海外協力隊

「海外でボランティアをする」—— 夢見たことはあるけれど、実現していない人は多いのではないのでしょうか。もしかしたらあなたが行くかも、あるいは行ったかもしれないその土地の様子を、青年海外協力隊 OB・OG の方々に教えていただきます。

第37回

泣いた! 笑った! トンガの人々と…

居川美佐子さん (34歳) 2007年3月~2009年3月、トンガ王国で幼児教育に携わる。現在は、東川町で臨時保育士として勤務。



廃品でボーリングを作って遊んだ

椰子の木の列が果てしなく続き、青い空が澄み渡る。トンガ王国にある小さな村。教会付属小学校に併設する幼稚園に足を運んだ初日、建物を見て「ここが…」と驚いた。掲示物は破れたまま。イスや机は壊れかけ。絵本もおもちゃも無い。室内は薄暗かった。外では資格を持たない保育者が、自分たちは座ったまま、5人程の園児を遊ばせていた。「人々は幼児教育をどう捉えているのか?」—— 疑問と不安から私の任務はスタートした。

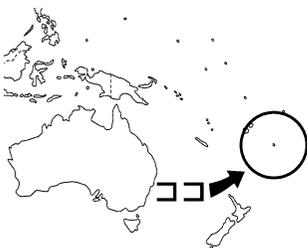
村の世帯は大家族が多く、ほとんどの家庭に幼児はいる。しかし、就園率は高くない。その理由として、村人たちからは、「お金がない」「送迎が面倒」「街の方がいい」「幼稚園って何をしているの?」という声を聞いた。そこで、まずは明るい園を築くために、文字や数字のポスターを作って貼り出した。子どもたちの折り紙や絵画の作品を園内に飾った。絵カードや歌遊びを通して文字指導をしたり、ゲームや外遊びを展開した。無いおもちゃは、廃品や自然物を利用して手作りした。

現地の住民である同僚たちとのクラス運営においては、私なりに気を使った。活動内容や指導について、良いと思われる方法を提案したが、一度一步出たら、一步下がることを意識した。でも、言語や文化、考え方の違いが壁になることは多々あった。例えば現地では、就学前に読み書きを習得させることが絶対条件だっ

たり、雨の日は保育者や園児が体調を崩して医療機関にかかることを避けるため休園することになっていたり、運営資金はトンガ伝統のダンスを披露して寄付を募る方法でまかなわれていたり、家庭と宗教を重んじた生活リズムが取られていたりなどである。

豆知識

日曜は法で定めた休息日。教会の礼拝以外は仕事も娯楽も禁止だが、なぜかパン屋だけ営業できる。



しかし、異文化を習い、現地コミュニティの一員となっていくことで、私には、活動に反映する「できること、変えるもの、変わらないもの」が見えてきた。また、次第に同僚が、保育の悩みや問題を見つけては投げかけてくれるようになった。同時に、このやり取りが、村における幼稚園の存在感を徐々に高めることに繋がっていった。「資格を取りたい」と意欲になった同僚、子どもの成長を知らせてくれる保護者、「先生になりたい」と言ってくれる若者、そして、毎日楽しみに幼稚園に通ってくれる子どもたち。貧しさや不便さの中で立ち上がり、助け合うことで幸せを築く人々の姿に、励まされ学ぶことが多かった貴重な2年間だった。



建物は、村人が椰子の木を使って建設したもの。最後列、向かって左が筆者

▼応募相談・活動などボランティアに関するお問い合わせは

独立行政法人 国際協力機構 札幌国際センター (JICA 札幌)
〒003-0026 札幌市白石区本通16丁目南4番25号 TEL: 011-866-8393 Eメール sictpp@jica.go.jp



誰でも気軽に立ち寄っておしゃべりができる「地域のお茶の間」は、集まった人たちとおしゃべりをしたり、ゲームや料理などをしながら、一緒に楽しい時間を過ごすことができるスペースです。

ホームページで札幌市内を中心に、300ヶ所を紹介中!

お茶の間めぐり

検索

Vol.32

生きがい・サロン・ポニー

場 所	札幌市白石区本郷通 4 丁目北 6-12 馬場さん宅
日 時	毎月第 1 月曜日 10:00~13:30
参加費	200 円 (お茶とお菓子代)
参加対象	会場近隣にお住まいのご高齢の方
主催・連絡先	白石区社会福祉協議会 TEL: 011-861-3700



お茶の間について

地域の皆さまの出会いの場づくり、仲間づくり、友達と仲間の輪を広げて住民同士の支えあいの心が息づく地域社会、そしてまちづくりの構築を目的に 2005 年に始めました。茶話会、勉強会、イベント開催などの活動をしており、文化・芸術・生活の情報交換の場となっています。地元町内会行事にも積極的に声かけをして参加しています。60~80 代を中心に、特別に働きかけなくても自然に常時 15 人くらいは集まり、お休みされる時には連絡があるほど、参加者間の交流は活発です。

参加者の声

- ・向こう三軒両隣しか知らなかった私ですが、地域の皆さんとお会いする機会ができました。この会に感謝します。(70 歳女性)
- ・入院、手術で声が出づらくなり、娘を亡くしたこともあって、家に引きこもっていました。そんな時に会に誘っていただけ嬉しかったです。(70 歳女性)
- ・役職を全て辞めました。社会との接点がなくなるところでしたが、サロンに参加できて幸せです。(80 歳男性)



ボラナビカフェも
毎月開催しています。



日 時/2010 年 5 月 8 日(土)、6 月 12 日(土)
どちらも 10:00~11:30

場 所/ボラナビ事務所(中央区北 5 西 6 札通ビル 7 階)
内 容/テーマを決めずに楽しく話し合う場です。

参加費/300 円 定 員/10 人

参加方法/1 週間前までに要予約。TEL: 011-242-2042
volunavi@npohokkaido.jp
月寒あんぱん本舗 ぼんま様より茶菓子の提供があります。

3月の

事務局の1カ月を
振り返りつつご紹介



- 5(金) ●懐かしいボラボラさん(ボラナビ倶楽部のボランティア)が事務所を訪ねてくれた。
- 10(水) ●スタッフとボラボラさんが、地域情報を扱うフリーペーパーを発行している会社を訪問し、お話をうかがった。●札幌市ボランティアセンター運営委員会に森田が出席。新年度の事業計画案を協議した。●釧路のNPO法人地域生活支援ネットワークサロン設立者で、現在、事務局顧問の日置真世さんの講演を聞きに行った。札幌でも実現させたい事業のお話がたくさんあった。
- 12(金) ●北海道NPOサポートセンターが主催するコミュニティ・ジョブNPO事例研修会で森田がスピーチ。地域社会で貢献できる活動や働き方に関心のある方たちが参加して下さった。
- 13(土) ●ボラナビカフェの終了後も、参加者と事務

- 局スタッフが「地域の子ども支援」などで話しこんだ。
- 16(火) ●札幌市主催の地域ポイント制度研究会に森田が参加。
- 17(水) ●ボラボラさんが、ボラナビの配置場所と協賛協力の依頼をいくつかの会社にしてくれた。
- 19(金) ●4月号が納品され、ボラボラさん2人が梱包作業をしてくれた。
- 23(火) ●新聞販売店に毎月ボラナビ7千部弱を自家用車で運ぶ作業をこれまでではスタッフが行っていたが、今月からボラボラさんに代わっていただくことになった。「この倍の部数でも大丈夫」と心強いお言葉をいただいた。●札幌市役所にボラナビを約4千部運ぶ作業をスタッフとボラボラさんが3人で行う。毎月発行しているメルマガで、手伝ってくれる方を募っているのだが、作業する顔ぶれはいつも同じである。●北海道社会福祉協議会の北海道ボランティア・市民活動センター運営委員会に森田が参加。
- 30(火) ●ボラナビ最終ページの「ボラナビ倶楽部を支援して下さった方々」にある「ナニヌ順」の意味の問い合わせをいただいた。このひと月の間に1万円以上支援して下さった方を紹介している欄だが、並び順が規則的に変わるように、「ア行が最初の月」の次は「カ行が最初の月」とずらしている。この欄に対するこの問い合わせは多い。

月刊ボラナビの配置先 (今月は道外と札幌市中央区をご紹介します)ボラナビは毎月25日に約1,000ヶ所に配置しています。

■道外 ●仙台/杜の伝言板ゆるる ●東京/日本NPOセンター ●名古屋/ボラみみより情報局 ●札幌市 ●中央区/カナリヤ洋品店/センタービル薬局/日本損害保険協会/ふれあい広場/二期会歯科クリニック/やましな内科/NPO法人ハンド・イン・ハンド/NTTドコモ北海道/ドコモショップ(札幌駅前南口店・札幌店・トクプラザ店・南大通店・ススキノ十字街店・旭山公園通店・中島公園店・石山通店・桑園店・円山店・APIA店・狸小路4丁目店・ポルタウソノ店)/札幌医科大学/札幌学院大学アクティブセンター/吉田学園総合福祉専門学校/協同学園ヒューマンアカデミー/コープさっぽろ植物園店/札幌東光ストア(行啓通店・西線6条店・プロム山鼻店・円山店・宮の森店)/ディナーベルすすきの南7条店/フレティ(札幌店・16条店)/ラルズプラザ札幌店/ラルズマート(啓明店・山鼻店)/マックスバリュ(円山店・南15条店)/ローソン(札幌南2条西11丁目店・札幌北1条東1丁目店・札幌中島パーク店・札幌北4条西4丁目店)/文教堂(メディア館宮の森店・札幌すすきの店・さっぽろ駅店)/紀伊国屋書店本店/TSUTAYA宮の森店/札幌日産自動車(本社・宮の森支店)/勝日産サティオ札幌(特販部・藻岩営業所)/Honda Cars南札幌中央店/桑園自動車学校/セイコマート道庁前北店/札幌国際プラザ/札幌市役所広報課/札幌市障害福祉課計画係/札幌市社会福祉協議会/札幌市児童福祉総合センター/札幌市社会福祉協議会ボランティアセンター/社会福祉総合センター/札幌市社会福祉協議会/中央区社会福祉協議会/中央区民センター/中央区役所/中央図書館/旭山公園通地区センター/道庁生活振興課/道立市民活動促進センター/社団法人北方圏センター/北海道社会福祉協議会/円山勤労青少年ホーム/札幌市中央勤労青少年ホーム/北海道環境サポートセンター/かでの2・7/ハローワーク/大通献血ルーム/まちづくりセンター(大通公園・東北・苗穂・東・豊水・西創成・曙・山鼻・幌西・西・南円山・円山・桑園・宮の森)/円山総合運動場/中央体育館/中島体育センター/NHK札幌放送局ハートプラザ/札幌市市民活動促進担当課/札幌信用金庫(本店・桑園支店・円山支店・山鼻中央支店)/北海道銀行(本店・旭ヶ丘支店・行啓通支店・札幌駅前支店・薄野支店・創成支店・中央支店・中央市場支店・鳥居前支店・道庁支店・西線支店・南1条支店・石山通出張所)/北洋銀行(本店営業部・大通支店・札幌南支店)/北海道労働金庫(本店・道庁支店)/コーヒョショップさんなん/朝日カルチャーセンター/道新文化センター/中和石油(FW山鼻・水穂ファクトリー・南LPG・ニュー桑園)/北海道エネルギー(南4条・石山通・西線・宮の森・琴ヶ丘・西24丁目・旭ヶ丘・札幌大通)/札幌河辺石油(JOMOあけぼのステーション・JOMO北円山ステーション)/札幌劇場/シアターキ/東宝公衆/うおやー札幌本店/ごまそば鶴喜(伏見店・大通り西2丁目店)/サッポロ珈琲館桑園駅前店/アイ・カフェ札幌店/びっくりドンキー(札幌駅前通り店・大通地下店・狸小路店・氷雪の門地下店・石山通り店)/サンローゼパセオ店/そば処そば徳/JR桑園駅/JR苗穂駅/Foot980

その他の配置先は、ボラナビホームページをご覧ください。

※配置に協力していただいている皆さま、ありがとうございます。札幌市内の小中学校と北海道内の社会福祉協議会に配付しています。

遊佐新聞販売株式会社様、有限会社北海道新聞中田専売所様の協力で、札幌市の一部地域で北海道新聞に折り込み配布をしています。一部地域では、ポスティングをしています。

カ フ ェ レ ポ

各参加者の職場の話になり、「私のバイト先はモチベーションが上がらない。とりあえず言われたことをする、という雰囲気がある。仕事環境や、やる気をもっと高めたい」、「自分の所は、社長と社員が同じ部屋にいて風通しがいい。人のために何かしなさいと言ってくれるような社長」、「仕事はきつくて怒られてばかり。辞めようと思ったこともあるが、やりがいがあり、楽しいと思えるので続けている」などの発言がありました。「会社に使われるのではなく、自分がやりたいことで生計を立てたい」という学生さんもありました。また、「視点を変える」というテーマで、それによって成功したビジネスや社会的企業の話になり、「何かアイデアは無いかと考え出すと、頭から湯気が出てきて夜も眠れない」と話す方もいました。(村上智恵子)



ボラナビ倶楽部を支援してくださった方々 (ハヒフ順)

北雄ラッキー株式会社様	株式会社ラルズ様	NPO 法人チャリティ・プラットフォーム様
北海道銀行様	株式会社 HBA 様	株式会社土屋ホーム様
北海道新聞社様	株式会社 NTT ドコモ様	寺岡ファシリティーズ株式会社様
有限会社北海道新聞中田専売所様	札幌通運労働組合様	富永マサエ様
北海道文化放送様	城宝和茂様	中道リース株式会社様
森田雄二様	進藤芳彦様	株式会社ニトリ様
遊佐新聞販売株式会社様	生活クラブ生活協同組合様	匿名希望者様

寄付金について

月刊ボラナビの発行は、企業や個人の方々からの寄付金でまかなわれています。10,000円以上の寄付金や、この欄への10,500円の寄付広告をいただいた際は、誌面でお名前をご紹介します。また、札幌市のさぽーとほっと基金を利用してボラナビに寄付をすると、個人なら所得税及び住民税の寄付金税額控除、法人なら全額損金入りが可能です。☎札幌市市民まちづくり局 TEL:011-211-2964 メール shimin-support@city.sapporo.jp

■情報掲載料金 (各1号につき)

種類	サイズ (天地×左右)	料金
企業・行政など広告A	50 mm×157 mm	63,000 円
企業・行政など広告B	50 mm× 76 mm	31,500 円
NPO・NGOの情報A	50 mm×157 mm	10,500 円
NPO・NGOの情報B	50 mm× 76 mm	5,250 円
NPO・NGOの情報C	定型	無料
裏表紙	50 mm×157 mm	105,000 円
バナー広告	60 ピクセル×120 ピクセル	52,500 円 (1,400 円/日)

※基本的に前払いでお願いいたします。

※上記の料金は、ご自身で制作された場合のものです。ボラナビ倶楽部に制作を依頼される場合は、別途ご相談ください。(A=6,300円、B=4,200円、バナー広告=6,300円)

※バナー広告の掲載団体・個人は協賛一覧でご紹介させていただきます。

※「NPO・NGOの情報C」は、誌面の都合により掲載できない、又は縮小する場合があります。

■定期購読のご案内

●各号1部(6ヶ月間)……………1,575円

複数部を希望される場合は、ボラナビ倶楽部までお問い合わせください。

●お申し込み方法 定期購読ご希望の方は、ボラナビ倶楽部までご連絡ください。

定期購読のお申し込みをされる場合(特に企業でお申し込みの場合)は、寄付または寄付広告をご検討ください。詳細は上記の「寄付金について」をご覧ください。

ボラナビ倶楽部への お振り込みは

■ゆうちょ銀行(郵便振替)
02700-1-5671

■北洋銀行北7条支店
(普)3662056

■北海道銀行札幌駅北口支店
(普)0816050

■北海道労働金庫道庁支店
(普)3153060

■札幌信用金庫本店
(普)4255071

●口座名:ボラナビ倶楽部

※北海道労働金庫の窓口でお振り込みの際は、支払い手数料はかかりません。

■クレジットカードによる支払いも可能です。詳細はボラナビのホームページでご確認ください。

■ボラナビモバイル



QRコード対応携帯のみ

ボラナビ倶楽部の会員になりませんか?

社会を変えたい人

一緒にボラナビを育ててみたい人

市民活動やボランティアに興味がある人

ボラナビに情報・広告を載せたい人

ボラナビ大好きな人

■年額/個人5千円、法人1万円。

■特典/月刊ボラナビが毎月自宅に送られてくる。ボラナビカフェに無料で参加できる(月1回)。法人会員は、有料広告枠を1割引で利用できるなど。ぜひお申し込みください。

■お申込み・詳細/ホームページで検索

※会員期間は、2010年4月~2011年3月です。

NPO 法人ボラナビ倶楽部 ● volunavi@npohokkaido.jp ● TEL 011-242-2042